

「バビロンに連れて
いかれた少年たち」

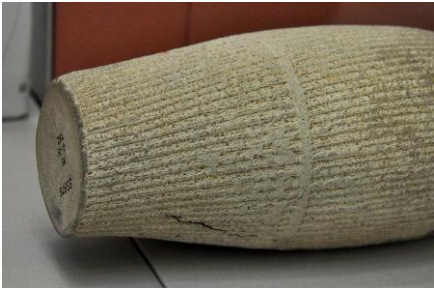
ダニエル書1章

1

王は宦官の長アシュペナズに命じて、イスラエル人の中から、王族か貴族を数人選んで連れて来させた。その少年たちは、身に何の欠陥もなく、容姿は美しく、あらゆる知恵に秀で、知識に富み、思慮深く、王の宮廷に仕えるにふさわしい者であり、また、カルデア人の文学とことばを教えるにふさわしい者であった。王は、王の食べるごちそうと王の飲むぶどう酒から、毎日の分を彼らに割り当て、三年間、彼らを養育することにし、そのあとで彼らが王に仕えるようにした。彼らのうちには、ユダ部族のダニエル、ハナヌヤ、ミシャエル、アザルヤがいた。宦官の長は彼らにほかの名をつけ、ダニエルにはベルテシャツアル、ハナヌヤにはシャデラク、ミシャエルにはメシャク、アザルヤにはアベデ・ネゴと名をつけた。ダニエル1:3-7

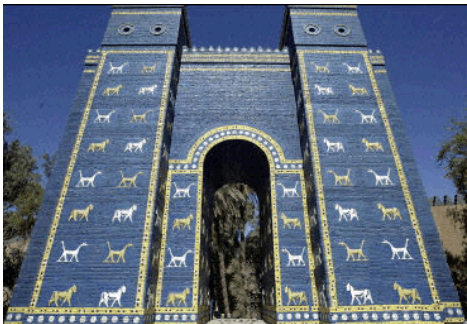
2

ネブカデネザルの円筒形碑文



3

復元されたバビロンの門



4

バビロニア帝国



5

バビロンが少年たちから奪ったもの

- エルサレムでの貴族(王族)としての生活
- 故郷、家族、友人、好きな人
- 貴族、王族としての地位、プライド(仕えられる者から、仕える者に)
- 名前変更、言葉(征服者の言語)
- 持っていたものすべて、相続できたはずの財産
- 約束されていた官職(将来)
- 宦官にされた。

6

「思想(洗脳)教育」で信仰も

- 信仰を捨てて、バビロンの神々に乗り換え？
- そして言った。「私は裸で母の胎から出て来た。また、裸で私はかしこに帰ろう。【主】は与え、【主】は取られる。【主】の御名はほむべきかな。」ヨブ 1:21
- 「あなたは愚かな女が言うようなことを言っている。私たちは幸いを神から受けるのだから、わざわざいをも受けなければならないではないか。」ヨブはこのようになって、罪を犯すようなことを口にしなかった。ヨブ 2:9-10

7

「思想(洗脳)教育」で信仰も

- ヨセフは彼らに言った。「恐れることはありません。どうして、私が神の代わりでしょうか。あなたがたは、私に悪を計りましたが、神はそれを、良いことのための計らいとなさいました。それはきょうのようにして、多くの人々を生かしておくためでした。創世 50:19-20
- ダニエルたちは、神の栄光のために王の食事を拒んだ。神にスペースを提供した。(自分たちの健康、能力はネブカデネザル王によるものではなく、創造者である真の神、王によるもの！)

8

バビロンが奪えなかったもの

- ベトナム戦争のときに、捕虜となり、7年間ハノイの収容所で不衛生、ごみだめのような所で残酷な扱いに耐えたハワード・ラートリッジさんの話。5年間は独房、猫ぐらいに大きなトブネズミといっしょに、皮膚に食らいついてくるヒルのような生き物、自分の排泄物の中で生きた。多くの人は病気になり死んだ。精神的におかしくなった。彼らの狙いは敵の心を折って、自分たちの求める情報を手に入れること。
- 死の光景、死の音に囲まれた中で、自分の中で死なない部分は何かを考えた。相談し、祈ってもらった牧師も、日曜学校の先生もいない。聖書も、讃美歌集もない。信仰であり、心であり、魂であることに気づき、一生懸命日曜学校で学んだみことば賛美歌、礼拝説教のメッセージを思い出そうとした。
- 支えたのは、聖書の言葉。みことばと祈りと賛美。高校生ぐらいまで教会に通ったが、その後は教会から離れてしまっていた。それでも36個の賛美歌は思い出すことができた。主の祈り 詩篇23、有名な箇所、ヨハネ3:16。「あなたのみことばを心に蓄えました。」というみことばも。そしてもっと、もっと蓄えておくべきだと思った。

9

バビロンが奪えなかったもの

- 少年たちと神との関係(信仰)
- ラートリッジ(Howard E. Rutledge)「人生のすべてが剥ぎ取られたとき、私たちは本当に持っているのは神だけだと悟る。そしてそのとき、神だけで十分だと知る」。彼は、「記憶していた聖句を思い出すことで、一日を耐え抜くことができた」と述べている。
- “When everything else in life is stripped away, we learn that the only thing we truly have is God. And in that moment, He is enough.”

10

バビロンが奪えなかったもの

- 信じるとは神といっしょに生きること。「ごいっしょする」ということ。信じるとは神を受け入れ、神の愛を受け入れ、神を自分たちの王(キリスト)として受け入れ、「ごいっしょすること」。
- ヨセフもダニエルも、誰も見ていないところで、見えない神に忠誠を尽くした。神を敬い、愛し、従った。ダニエルはヨブの話も、ヨセフの話も良く知っていたはず。それらがダニエルに力になったと思う。そしてダニエルたちの信仰も私たちの信仰を励ます。

11

バビロンが奪えなかったもの

- キリストのことばを、あなたがたのうちに豊かに住まわせ、知恵を尽くして互いに教え、互いに戒め、詩と賛美と霊の歌とにより、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい。あなたがたのすることは、ことばによると行いによるとを問わず、すべて主イエスの名によってなし、主によって父なる神に感謝しなさい。
コロサ 3:16-17

12

バビロンが奪えなかったもの

- バビロンの川のほとり、そこで、私たちはすわり、シオンを思い出して泣いた。その柳の木々に私たちは立琴を掛けた。それは、私たちを捕らえ移した者たちが、そこで、私たちに歌を求め、私たちを苦しめる者たちが、興を求めて、「シオンの歌を一つ歌え」と言ったからだ。私たちがどうして、異国の地にあって【主】の歌を歌えようか。 詩137:1-4
- ダニエルは歌い続けた。神といっしょに踊り続けた。

13

バビロンが奪えなかったもの

- **神は**この四人の少年に、知識と、あらゆる文学を悟る力と知恵を与えられた。ダニエルは、すべての幻と夢とを解くことができた。彼らを召し入れるために王が命じておいた日数の終わりになって、宦官の長は彼らをネブカデネザルの前に連れて来た。王が彼らと話してみると、みなの中でだれもダニエル、ハナヌヤ、ミシャエル、アザルヤに並ぶ者はなかった。そこで彼らは王に仕えることになった。王が彼らに尋ねてみると、知恵と悟りのあらゆる面で、彼らは国中のどんな呪法師、呪文師よりも十倍もまさっているということがわかった。**ダニエルはクロス王の元年までそこにいた。** ダニエル1:17-21

14

- しかし、私たちは、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことの中にあっても、圧倒的な勝利者となるのです。私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。 ロ-マ8:37-39
- Yet in all these things we are more than conquerors through Him who loved us. For I am persuaded that neither death nor life, nor angels nor principalities nor powers, nor things present nor things to come, nor height nor depth, nor any other created thing, shall be able to separate us from the love of God which is in Christ Jesus our Lord. Ro 8:37-39

15